

●タツミプランニングのメガソーラー

Operation

& Maintenance 保守と運用

太陽光発電所は最適なEPC(設計・調達・建設)とともに重要な要素は、保守と運用です。
効率の良い適切な設計のシステムを持続させることはO&Mにかかっていると言っても過言ではありません。
適切に管理し稼働させることにより、設計段階のパフォーマンスを可能とします。
発電所のモニタリングは遠隔操作可能な監視システムを採用しております。



電気保安

出力50KW以上の太陽光発電所は、電気事業法によって定期点検が義務付けられています。

現場対応

遠隔監視による異常を確認し、現地交渉箇所の探索や一時対応、復旧までの二次対応を行います。

発電レポート

発電状況のレポートや修繕カルテの作成、長期修繕計画の作成など、将来の出力低下リスクを抑えるための管理を行います。

遠隔監視

サービスセンターにて常時管理し、異常の発生、天候以外の出力低下をモニタリング。
主任技術者、メーカー出動依頼のコントロールをします。

定期点検

電気保安業務の定期点検の他、パワーコンディショナー定期点検や付帯設備の定期点検を行います。

異常解析

IVカーブ測定時の異常に対して、サーモグラフィーなどを使用し、異常内容の解析を行い、発電量の低減を最小限に抑えます。